

集団宿泊教室担当者セミナー 説明資料

セミナー②・③実施分

オンライン研修にご参加いただいた先生方、
ご参加ありがとうございました。
研修中にお見せしていた資料です。
集団宿泊教室の準備にお役立てください。



1

集団宿泊教室の意義や 効果について

熊本県立あしきた青少年の家



2

- (1) 集団宿泊教室の位置づけ
- (2) 体験活動の意義と効果
- (3) 集団宿泊教室の計画



3

学校教育法 第31条

「小学校においては、…（中略）…教育指導を行うに当たり、児童の**体験的な学習活動**、特にボランティア活動や**自然体験活動**、その他の体験活動の充実に努めるものとする。この場合において、社会教育関係団体その他の関係団体及び関係機関との連携に十分配慮しなければならない」

（第49条、第62条で中、高に準用）



4

□学習指導要領（教育課程の編成領域）

各教科 道徳 総合的な学習の時間 **特別活動**

- 学校行事
- (1) 儀式的行事
 - (2) 文化的行事
 - (3) 健康安全・体育的行事
 - (4) 遠足・**集団宿泊的行事** (小学校)
旅行・**集団宿泊的行事** (中学校)
 - (5) 勤労生産・奉仕的行事

【遠足・集団宿泊的行事】

自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、**自然や文化などに親しむ**とともに、**よりよい人間関係を築く**などの**集団生活の在り方**や**公衆道徳**などについての体験を積むことができるようにすること。



5

・子どもたちが育つ環境の変化

①時間、空間、仲間の変化

- ・ コロナ禍（2019年～）による生活環境の変化
- ・ 習い事や塾などによる子どもたちの自由な時間の減少
- ・ 規制、ルールによる子どもたちの遊び場の減少

→ いろいろな体験で得られる成長の土台が減少

②メディアの変化

- ・ インターネット、SNSの発展→体験をせずとも様々な情報を入手できる。
- ・ 親と子のコミュニケーションの低下や運動分野の活動減少

→ 直接体験の減少、自然にできるから→あえて体験させることへ変化

→ **子どもへの体験の意図的・計画的提供が求められる**

6

2030年の社会と子供たちの未来

子供たちが将来就くことになる職業の在り方についても、技術革新等の影響により大きく変化することになると予測されている。

子供たちの65%は将来、今は存在していない職業に就く(キャシー・デビッドソン氏(ニューヨーク市立大学大学院センター教授)との予測や、今後10年～20年程度で、半数近くの仕事が自動化される可能性が高い(マイケル・オズボーン氏(オックスフォード大学准教授))などの予測がある。また、2045年には人工知能が人類を越える「シンギュラリティ」に到達するという指摘もある。このような中で、グローバル化、情報化、技術革新等といった変化は、どのようなキャリアを選択するかにかかわらず、全ての子供たちの生き方に影響するものであるという認識に立った検討が必要である。

(初等中等教育局初等中等教育企画課教育制度改革室)

参照：文部科学省

7

体験活動の意義

体験活動は、豊かな人間性、自ら学び、自ら考える力などの**生きる力の基盤、子どもの成長の糧**としての役割が期待されている。

思考や実践の出発点・基盤、あるいは思考や知識を働かせ、実践して、よりよい生活を創り出していくために体験が必要である。

参照：文部科学省,体験の教育的意義

8

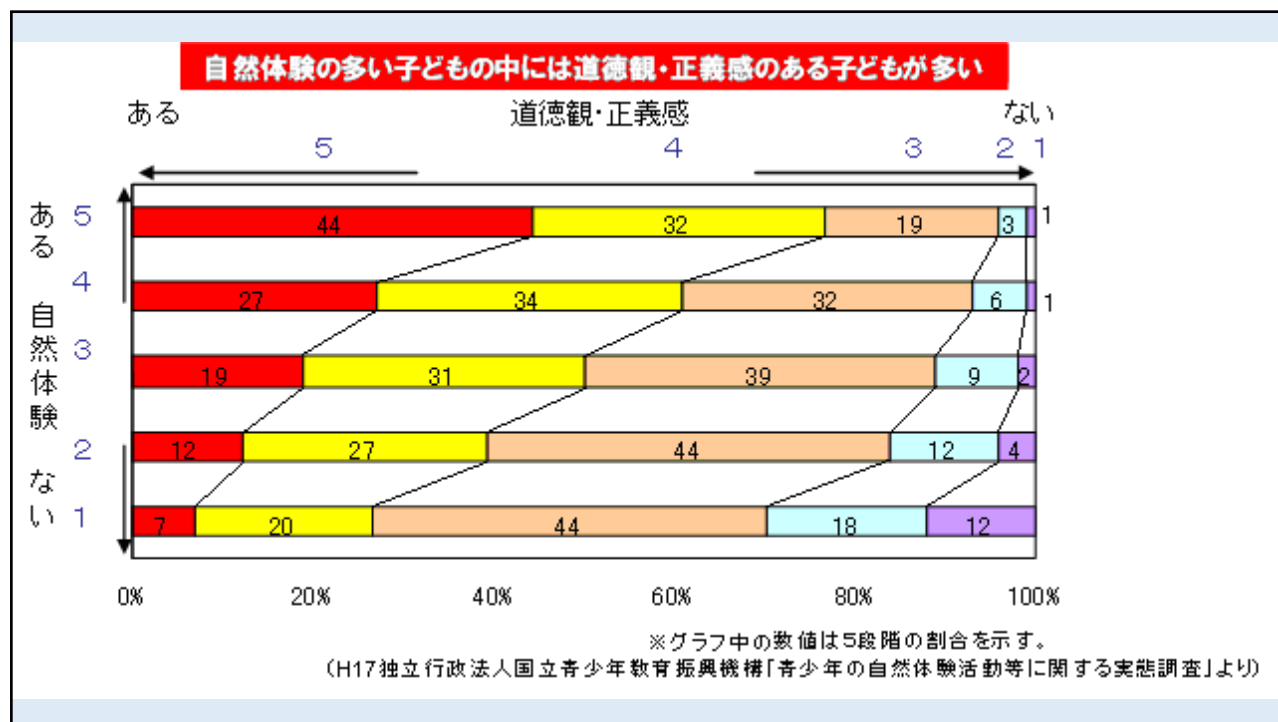
体験活動の意義

期待される効果

- ・ 現実の世界や生活などへの興味・関心、意欲の向上
- ・ 問題発見や問題解決能力の育成
- ・ 思考や理解の基盤づくり
- ・ 教科等の「知」の総合化と実践化
- ・ 自己との出会いと成就感や自尊感情の獲得
- ・ 社会性や共に生きる力の育成
- ・ 豊かな人間性や価値観の形成
- ・ 基礎的な体力や心身の健康の保持増進

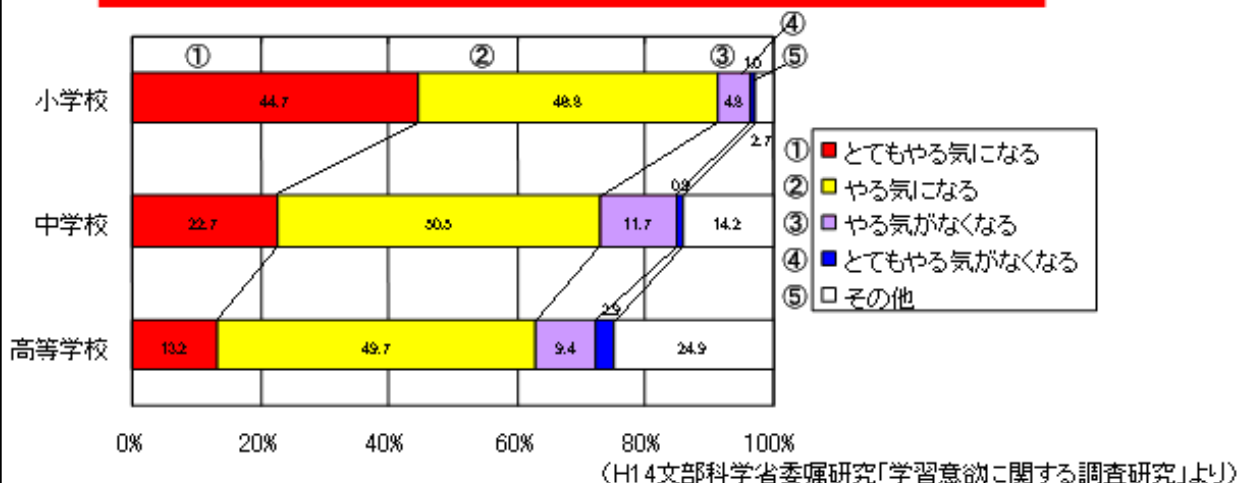
参照：文部科学省、体験の教育的意義

9



10

自然に触れる体験をしたあと、勉強に対してやる気が出る子どもが増える



11

集団宿泊教室の計画

- ☐ 児童・生徒の実態の把握及び目的設定
- ☐ 目的達成のための目標設定
- ☐ 目的達成のための活動プログラムの設定
- ☐ 事前・事後学習の重要性



12

- ☐ 児童・生徒の実態の把握及び目的設定
- ☐ 目的達成のための目標設定
- ☐ 目的達成のための活動プログラムの設定
- ☐ 事前・事後学習の重要性



13

- ☐ 児童・生徒の実態の把握及び目的設定
- ☐ 目的達成のための目標設定
- ☐ 目的達成のための活動プログラムの設定
- ☐ 事前・事後学習の重要性



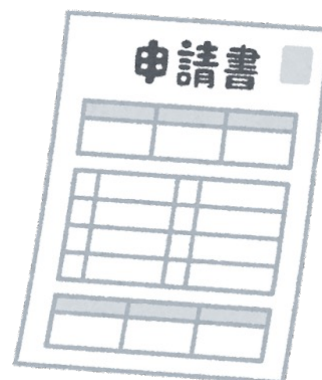
14

- ☐ 児童・生徒の実態の把握及び目的設定
- ☐ 目的達成のための目標設定
- ☐ 目的達成のための活動プログラムの設定
- ☐ **事前・事後学習の重要性**



15

利用申請書類について



16

その前に…



17

旅行に行きたいなと
思って電話しました



あなたはどんなこと
を聞きますか？



旅行代理店で働くあなた

18

どのような目的ですか？

何人ですか？

何かしたいことがありますか？

お食事はどうされますか？

予算はいくらですか？



19

どのような目的ですか？

何人ですか？

何かしたいことがありますか？

お食事はどうされますか？

予算はいくらですか？ **手引き10P**

申請書で伝える



20

利用申請書類について

もれなく

まちがいなく

おくれなく



21

利用申請書類について

もれなく（申請書をダウンロード）

まちがいなく（誰かにチェック受ける）

おくれなく（利用3週間前提出）

今年（最新）
の書類を！



22



23

■ 利用の流れ	利用申請に必要な書類
■ 利用料金	この度は、本施設利用の申し込みありがとうございます。 ご利用の3週間前までに、下記の書類①～⑥をご記入の上、郵送にてご提出をお願いします。
■ 集団宿泊教室	【提出書類】 ①利用許可申請書 (団体の代表者名で申請して下さい) ②利用者名簿 (年齢の欄は、学年でも構いません) ③活動プログラム表 (雨天プログラムも忘れずにご記入下さい) ④-1 食事注文票・アレルギー確認票 (活動プログラムと一致するようにご記入下さい) ※食物アレルギーにつきましては、細かく記載下さい。重篤な症状のある方はご連絡下さい。 ④-2 野外炊飯計画表 (キャンプ場利用の団体は、食事内容をご記入下さい) ⑤返信用封筒 (貴団体の住所、氏名をご記入の上、84円切手を貼ったもの) ※利用許可書送付用です。 ⑥利用変更許可申請書 (利用許可書から変更がある場合に必要です。申請書と同じ印鑑が必要になります。)
■ 合宿・研修	【その他】 ⑦利用中止届出書・・・申請書提出後、中止する際に提出をお願いします。 ⑧利用料免除申請書・・・利用料免除対象者がいる場合、利用許可申請書と併せてご提出下さい。 →免除対象者の詳細はコチラ
■ 幼児利用	【出前講座】 ⑨出前講座申請書 ⑩出前講座計画書
■ 日帰り利用	
■ 健康・安全の確保	
■ 出前講座	

24

〒869-5454
 熊本県葦北郡芦北町鶴木山
 TEL 0966-82-3092
 FAX 0966-82-3094

各書類ダウンロード

書類	PDF	Word	Excel
① 利用許可申請書	download	download	
② 利用者名簿	download		download
③ 活動プログラム表（本館用）	download	download	
活動プログラム表（キャンプ場用）	download	download	
③-1 食事注文表	download		download
アレルギー確認票	download	download	
飲料水注文表	download	download	
③-2 野外炊飯計画表（キャンプ場用）	download	download	
⑥ 利用変更許可申請書	download	download	
⑦ 利用中止届出書	download	download	
⑧ 使用料免除申請書	download	download	
⑨⑩ 出前講座申請書・計画書	download		download
⑪ 利用の手引き	download		

☞マリン活動事前調査表はこちらどうぞ [download](#)

※記入例も添えてます。記入例を参考にしながらご記入お願いします。

[Return to](#)

25



2025年4月改訂版

ashikita youth center ashikita youth center ashikita youth center



熊本県立あしきた青少年の家
 kumamoto prefectural ashikita youth center

利用の手引き

安心・安全・快適で感動のある
社会教育施設を目指します。
Smile & Communication

2025年4月改訂版

26

利用申請書類について

①利用許可申請書

- ・ 公印省略が可能になりました
- ・ 目的、日時、人数、連絡先

3週間前必着書類

① 利用許可申請書

令和3年 9月 7日

熊本県立あきた青少年の家
 指定管理者 ひとづくり JAPAN ネットワーク・三勢共同団
 代表者 中川 保敬 様

所在地 〒869-5454
 宮北郡芦北町鶴木山熊香地
 団体名(学校名) 芦北町立あきた中学校

代表者 芦北 太郎

TEL (0966) 82-3092
 FAX (0966) 82-3094

熊本県立あきた青少年の家を下記のとおり利用したいので申請します。
 記

1 利用目的	【例】 ■施設利用を通して、仲間との能力や集団での生活の仕方を学ぶ。 ・自然に親しみ、自然とのふれあいを通じて、豊かな心を育てる。	
2 利用施設等	■宿泊棟 □キャンプ場 ■マリンスポーツ施設 ■文化ホール □その他()	
3 利用期間	入所日時 令和3年 9月28日(火曜) 9時00分 から 退所日時 令和3年 9月29日(水曜) 13時30分 まで	■()泊()日 □ 日帰り利用
4 利用人員	施設等名称 本館・宿泊棟 キャンプ場 マリンスポーツ施設	人数 一般の者 男子 2人 女子 1人 高校生以下の者 男子 7人 女子 8人 教習所の者 男子 人 女子 人 計 18人 9月28日(火) 9時00分 から 21時00分まで ※「高校生以下の者」とは、学校(幼稚園及び大学を除く)に在籍する者をいいます。 連絡先(TEL)090-XXXX-XXXX 芦北 次郎(学年主任) ※上記代表者と同一の場合は、記入の必要はありません。
5 利用責任者	芦北 次郎(学年主任)	
6 備考		

※施設等利用料の免除を申請する場合は、この利用許可申請書と併せて別紙『施設等利用料免除申請書』を提出してください。

27

利用申請書類について

②利用者名簿

- ・ 学校で自作されてもOKです
(様式は揃えてください)

② 利用者名簿

番号	利用団体名	年齢 学年	性別	利用内訳(曜日ごとに記入)		備考	研修 乗船 乗船 乗船				
				9/28	9/29						
1	芦北町立あきた中学校	中1	男	○	△		研修乗船				
2	野田 文男	中1	男	○	△		研修乗船				
3	近本 文夫	中1	男	○	△		研修乗船				
4	北村 拓也	中1	男	○	△		研修乗船				
5	石橋 元	中1	男	○	△		研修乗船				
6	野田 文男	中1	男	○	△		研修乗船				
7	野田 文男	中1	男	○	△		研修乗船				
8	野田 文男	中1	男	○	△		研修乗船				
9	野田 文男	中1	男	○	△		研修乗船				
10	野田 文男	中1	男	○	△		研修乗船				
11	野田 文男	中1	男	○	△		研修乗船				
12	野田 文男	中1	男	○	△		研修乗船				
13	野田 文男	中1	男	○	△		研修乗船				
14	野田 文男	中1	男	○	△		研修乗船				
15	野田 文男	中1	男	○	△		研修乗船				
16	野田 文男	中1	男	○	△		研修乗船				
17	野田 文男	中1	男	○	△		研修乗船				
18	野田 文男	中1	男	○	△		研修乗船				
19	野田 文男	中1	男	○	△		研修乗船				
20	野田 文男	中1	男	○	△		研修乗船				
○印の小計(人数)				9	9	18	0	0	0	0	17
△印の小計(人数)				0	18	0	0	0	0	0	0
合計(人数)				18	18	0	0	0	0	0	0

利用内訳欄の記入 宿泊者: ○印
 日帰り利用者: △印
 ※合計欄は、○印△印の計を記入してください。
 ※年齢・学年は使用料徴収判定の基礎となりますので、必ず記入してください。
 ※研修乗船(カッター艇、ペーロン艇、カヌー)の乗船時には、○を記入してください。
 ※備考欄には施設等利用料免除対象者の詳細(手帳の種類や等級、介護者)や、連合の場合の学校名、引率者の職名(教頭・副校長・養護など)も記入してください。

28

利用申請書類について

③活動プログラム表

- ・ 班、船、食事の数
- ・ 荒天プログラム

※現地研修や事前相談で決まったことを反映させてください

活動プログラム表（本館利用）

(記入例)

利用 団体名	うたせ中学校	連絡先 住 所 電 話	〒 8 6 9 - 5 4 5 4 芦北町鶴山 0 9 6 6 - 8 2 - 3 0 9 2	利用 者 数		男	女	計
利用の 目的	◎野外活動体験をとおして、協力の 態度や自然を大切にする態度を 高める。	F A X 担 携 担当氏名	0 9 6 6 - 8 2 - 3 0 9 4 0 9 0 - 8 6 9 0 - 5 4 5 4 (う た せ 太 郎)		参加者	34	34	68
					引率者	3	2	4
					計	37	36	71

活動プログラム日程表 【利用期日】

令和〇年 7月 14日(月)～ 7月 15日(火) 1泊 2日】

第1日目 7月14(月)		第2日目 7月15(火)		第3日目 月 日()	
9:00	青少年の家に到着	6:30	起床 朝のついで	6:30	起床 朝のついで
9:30	入所式・オリエンテーション	7:30	朝食	7:30	朝食
9:30	所内ウォークラリー	9:30	部屋の掃除・荷物整理 ビンゴオリエンテーリング	9:30	
	館内 ⅡR		体育館で クラスマッチ		
12:00	昼食	12:00	昼食	12:00	
13:30	マリッジ活動 Cutter艇 4艇	13:30	退所式	13:30	
	※食 64 ※注文弁当		退所		
16:30	代表者会(ミーティンググループ)	16:30		16:30	
	入浴・夕食				
19:30	ナイトゲーム (10班)				
	夕食 64				
21:30	就寝準備				
22:00	消灯(廊下消灯 22:30)	22:00		22:00	
特記事項					
※宿泊棟は利用当日の団体及び利用者数、また、施設運営面から判断し、本所から割り振りして提示させていただきます。ご了承ください。 交通手段 ① 貸切バス ② 自家用車 ③ JR ④ 徒歩 ⑤ 定期バス ⑥ フェリー ⑦ その他 ① 名札 必要 ② 不要 ※朝のついで(昼係1～2名、団体紹介1～2分、係休係1～2名)					

29

利用申請書類について

④食事注文表

**令和7年度
料金変更に注意**

- ・注文弁当受け渡し場所・時間
- ・食事時間の確認（手引きP12）
- ・数人のキャンセルは前日17時まで
→書き換えたものをFAX

食 事 注 文 表

令和7年4月改訂
鈴木昌立と15才素少年の家

合和 年 月 日

* 申請書と一緒に提出してください。

1. 【食 事 数】
(キャンプ場利用団体で、食事注文を希望される場合は、ご相談ください。)

利用団体名		うたせ中学校			担当者名		うたせ太郎		
		電話番号							
	7月14日(月)		7月15日(火)		月 日 ()				
	朝食	昼食	夕食	朝食	昼食	夕食			
	食費	弁当	食費	食費	弁当	食費			
	食費	弁当	食費	食費	弁当	食費			
小学5年生以上 (計5名・大人4名)		4	4	4	4				
小学5年生以下 (計5名・大人3名)		60	60	60	60				
小学4年生以下									
合 計		64	64	64	64				

2. 【食物アレルギー】

ある ・ なし

※食物アレルギーに該当する場合は、別紙「アレルギー確認票」にご記入ください。

3. 【注文弁当の受け渡し場所・時刻】

時刻	場所（※該当の箇所を○をつけてください。）
7/14 12:00	本館（ ） 新館（ ） キャンプ場（ ） 環境センター芝園支所（ ） その他（ ）
/ :	本館（ ） 新館（ ） キャンプ場（ ） 環境センター芝園支所（ ） その他（ ）
/ :	本館（ ） 新館（ ） キャンプ場（ ） 環境センター芝園支所（ ） その他（ ）

【料 金】

		小学校 5 年生以上	小学校 4 年生以下
昼 食	朝 食	5 8 0 円	4 9 0 円
	食 卓	7 7 0 円	6 4 0 円
	弁 当	7 7 0 円	6 4 0 円
	夕 食	1, 0 5 0 円	8 4 0 円

【食事数の変更について】

☆本所事務室へ連絡し、FAXにて食事注文表をお送りください。

☆当日の変更はできませんので、前日の17時00分までに連絡してください。

【水筒給水について】

水筒の給水は各宿泊棟に冷水器を設置しておりますのでそちらをご利用下さい。
飲料水購入希望の方は、別紙飲料水注文表にてご注文いただけます。

利用申請書類について

⑤食物アレルギー確認票

- ・ ○人います
- ・ 症状、程度まで記入
- ・ 記入者に確認連絡がある場合あり

⑤ 3週間前必需書類
食物アレルギー確認票 (※アレルギーの有無にかかわらず、必ず提出してください)

熊本県立あしきた青少年の家

団体名	芦北町立あしきた中学校	記入者名	津之内 咲子
利用期間	令和 3 年 9 月 28 日 (火) ~ 9 月 29 日 (水)		
食物アレルギーを持った利用者が <u>2人</u> います。 / いません。			

(※どちらかに○をつけてください。)

【記入例】

No.	氏 名	性別	アレルギー (食材)	主な症状	程度 (対応)	確認・相談先
1	芦北 太郎	男	卵	蕁麻疹	生食は不可 つなぎでの使用、及び火が通 してあるものは可	保護者・病院 その他 ()
2	豊野 花子	女	そば	呼吸困難	完全除去が必要	保護者・病院 その他 ()
3	岡田 三郎	男	エビ	蕁麻疹	除去すれば、食べられる	保護者・病院 その他 ()

No.	氏 名	性別	アレルギー (食材)	主な症状	程度 (対応)	確認・相談先
1	宇島 健二	男	えび・かに	アアナフィラキシー	完全除去	保護者・病院 その他 ()
2	藤村山 あかり	女	牛乳・卵	蕁麻疹	牛乳・生食は不可 卵：つなぎでの使用は可	保護者・病院 その他 ()
3						保護者・病院 その他 ()
4						保護者・病院 その他 ()

◆枠が不足する場合は、この用紙をコピーしてください。
◆アアナフィラキシー・ショックなど特に症状が重篤な方については、この票への記入だけでなく、必ず青少年の家まで直接ご相談ください。
◆この票に記入された利用者が食事をする際には、当日、食堂で確認をしてください。食堂の職員からどのような対応をしているかについて、説明を致します。
◆本票にて事前に申告されていない食物アレルギーについては、代替食等の対応ができません。

【メモ】(※施設職員使用欄)

31

利用申請書類について

⑥返信用封筒

あしきた青少年の家が学校へ
「利用許可書」を送るために使います
・宛名記入 ・切手を貼ってください

※書類一式をメールやFAXで提出の
場合は、封筒不要です。

⑥返信用封筒

(あしきた青少年の家から学校宛に「利用許可書」送付時に使います)

8	6	9	5	4	5	4
芦北町立あしきた中学校 校長 芦北 太郎						
芦北町鶴木山無番地						
利用許可書 在中						

32

利用申請書類について

⑦飲料水注文表

- ・ 支払いは現金または振込
- ・ 飲料水の支払い だけ 食堂で直接支払います

⑦ 飲料水注文表

利用団体名		担当者氏名
施設利用月日	令和 年 月 日 () ~ 月 日 ()	電話番号

品 名 (500ml ペットボトル)	単 価 (円)	数 量 (本)	受け渡し日
アクエリアス	130		令和 年 月 日 ()
お〜い お茶	130		時 間
真 っ 清 水	120		受け渡し及び支払い場所 食堂

品 名 (500ml ペットボトル)	単 価 (円)	数 量 (本)	受け渡し日
アクエリアス	130		令和 年 月 日 ()
お〜い お茶	130		時 間
真 っ 清 水	120		受け渡し及び支払い場所 食堂

※申し込み及び数の変更は、**利用日の1週間前までにFAXにて**お願いします。

【問い合わせ先】
熊本県立あしきた青少年の家
FAX (0966) 82-3094
TEL (0966) 82-3092

33

利用申請書類について

⑧施設等利用料免除申請書

- ・ 公印省略可
- ・ 手引きP11
- ・ 各種手帳のコピーを
利用当日に見せて等級を確認
させてください

⑧ 施設等利用料免除申請書

令和 3 年 9 月 7 日

熊本県立あしきた青少年の家
指定管理者 ひとづくり JAPAN ネットワーク・三勢共同体
代表者 中 川 保 敬 様

団 体 名 芦北町立あしきた中学校

代 表 者 芦 北 太 郎

下記の理由により施設等利用料を免除していただきたいので申請します。
記

1 利用期間	令和3年 9月28日 ~ 3年 9月29日	☒ 1泊 2日 ☐ 日帰り利用
2 免除理由	(1) 本人が免除に該当する手帳等の交付を受けている (2) 特定の介護者(該当手帳等を交付されている者1名につき1名まで)	
3 免除者数	利用者区分 2の(1)に該当する者 2の(2)に該当する者 計 一 般 人 1人 3人 高校生以下 2人	
4 免除申請 内 訳	【宿泊を伴う利用】 (宿泊棟利用) 一般の者 1110円 × (1) 人 × (1) 泊 高校生以下 420円 × (2) 人 × (1) 泊 (キャンプ場) 一般の者 320円 × () 人 × () 泊 高校生以下 100円 × () 人 × () 泊 【日帰りの利用】 一般の者 150円 × () 人 高校生以下 50円 × () 人 【文化ホール利用】 1団体1時間 1570円 × () 時間 【マリン活動研修船利用】 1人1回 50円 × (2) 人	
5 備 考		

34

利用申請書類について

⑨利用変更許可申請書

- ・ 公印省略可
- ・ 雨が降ってマリ活動が中止
- ・ 欠席で、○人になった
- ・ 利用期間が変更になった
(台風、感染症等)
- ・ 事前提出の必要なし

⑨ 利用 変 更 許 可 申 請 書

令和3年 月 日

入所日を記入する

熊本県立あしきた青少年の家
指定管理者 ひとづくり JAPAN ネットワーク・三勢共同体
代表者 中川 保 敬 様

団体名(学校名) 芦北町立あしきた中学校
代表者 芦北 太郎

令和 年 月 日付け(指定)あしき青少年 号で許可を受けた熊本県立あしきた青少年の家の施設利用に関し、下記のとおり利用を変更したいので申請します。

記

変更項目 (○で囲んでください)	利用期間 ・ 利用人員							
変更理由								
変更後の 利用期間	令和 年 月 日 () 時 分から 令和 年 月 日 () 時 分まで							
変更後の 利用人数	施設等名称	一般の者		高校生以下の者		就学前の者		計
		男	女	男	女	男	女	
	本館・宿泊棟	人	人	人	人	人	人	人
	キャンプ場	人	人	人	人	人	人	人
	マリ活動船艇	人	人	人	人	人	人	人
文化ホール(利用時間)	時 分から 時 分まで							

35

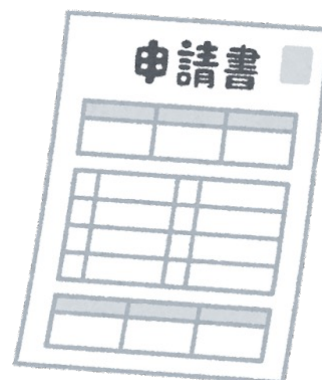
利用申請書類について

もれなく (申請書をダウンロード)

まちがいなく (誰かにチェック受ける)

おくれなく (利用3週間前提出)

提出の前に、複数で
チェックを！



36

安全管理と感染症対策

37

安全管理と引率者の役割

学校での日々の教育活動と同様に、学びのある、効果的な体験活動も「安全」という土台の上に成り立っています。

- ・ マリン活動
- ・ 野外活動
- ・ 創作活動
- ・ 食事（食物アレルギーの対応）
- ・ その他、活動外の時間帯



38

安全管理と引率者の役割

- 🐟 いつもと違う環境
(いつもと違う場所、初めて来た場所、チャイムなし
子どもたちの心境ワクワク・ソワソワ)
- 🐟 目の届きにくい場所や時間帯
- 🐟 引率者全員で安全を守る
(声かけ、見守り、役割分担、安全意識の向上)
- 🐟 施設職員との密な連絡



39

安全管理と引率者の役割

食物アレルギー対応

「利用の手引き」 12ページ、33ページ

- ・ 食事注文表、食物アレルギー確認表
- ・ 食堂と食物アレルギー対応について利用前に確認
- ・ 当日は毎食15分前を目処に代替食の受け渡し



40

生活面での取り組み（１）

基本的な感染防止対策

- 🐟 各部屋に空気清浄機の設置
（宿泊棟各部屋、各研修室）
- 🐟 屋内各所の水道 → 自動水栓化

マスクの着用は学校同様の対応です



41

生活面での取り組み（２）

利用者の傷病発生時の対応

- ・ **引率者から事務室へ報告**
- ・ 症状等の確認・ヒアリング、発症者（同室者）の隔離
- ・ 専門機関への相談・通報
- ・ 傷病者本人、団体動向の検討
- ・ 翌日からの利用予定団体へのアナウンス
- ・ 退所後の経過観察（病院受診の結果等）

初期対応とともに
事務室にもお願いします



42

生活面での取り組み（3）

＜発症時の対応フロー＞管理責任者（所長・副所長）出勤時

利用者の動き

職員対応の流れ

① 体温測定（検温）
② 37.5度以上の発熱、咳、のどの痛み、喉痛、
風邪の低下等の症状を察知

③ 必ず内線電話、携帯電話などから代表者が事務所に連絡し、対応を要する連絡

④ 内線：1300（事務室）
外線：0966-82-3092（あしたの青少年の家）

⑤ 【ヒアリング内容】
① 団体名、発症者氏名、症状、持病の有無、検温状況の確認、同室者の名前、人数、部屋、現在の待機場所、行動範囲

⑥ ⑤を電話で伝えること

⑦ マスク、使い捨て手袋、レインウェア等の着用（※別紙1参照）

⑧ ★無病、無発症、立入禁止セット、消毒セットを携行

⑨ ★体調不良者及び同室の全員を、他の利用者、職員と接触しないルート（廊下等）を通り隔離可能な部屋へ案内（※別紙2参照）

⑩ 発症者の所在（カバン・靴箱等の確認）
⑪ 費用が別途発生します。
敷金 ¥2800 謝金 ¥2800 検 ¥800
毛布 ¥800 布団カバー ¥100（※別紙3参照）

⑫ 体調不良者の送付、または医療機関へ

⑬ 団体・同室者の送付、または医療機関へ

⑭ 利用終了後、検温結果などの連絡
利用終了後2週間以内に、新型コロナウイルス感染症と診断された方がいる場合、早急に必ず青少年の家まで連絡

⑮ 所長・副所長に聞き取り内容を報告

⑯ 新型コロナウイルス感染症発生時連絡窓口へ連絡
電話番号：0966-3000-5000（24時間対応）

⑰ 隔離可能な部屋の確保・移動ルートの確保

⑱ 他の職員へ情報提供、ホワイトボードへ記入（詳細は【ヒアリング内容】を参照）

⑲ ★マスク、使い捨て手袋、レインウェア等の着用（※別紙1参照）

⑳ ★無病、無発症、立入禁止セット、消毒セットを携行

㉑ ★体調不良者及び同室の全員を、他の利用者、職員と接触しないルート（廊下等）を通り隔離可能な部屋へ案内（※別紙2参照）

㉒ クラスターとなる可能性があるため、団体代表者と連絡について協議する

㉓ ★動機のない入居禁止措置

㉔ ★宿泊・研修施設の消毒・換気（作業可能な場所から）

㉕ ★使用した履具（シューズ・靴カバー）の処理

㉖ ★対応後、使用したマスク、使い捨て手袋などはゴミ袋に入れ、衣類洗濯機・ドラム式乾燥機で洗濯、袋を2重にして廃棄（※別紙2参照）

ヒアリング用紙

令和 年 月 日 ()

聞き取り時刻:

聞き取り者（職員）:

回答者（引率者）:

① 団体名	
② 発症者氏名（年齢）	
③ 症状	① 頭痛はありますか (はい・いいえ) ② 体のだるさはありませんか (はい・いいえ) ③ 喉痛はありますか (はい・いいえ) ④ 下痢の症状はありますか (はい・いいえ) ⑤ のどの痛みはありますか (はい・いいえ) ⑥ 味やにおい、いつもと同じくらいに感じますか (はい・いいえ) ⑦ 嘔吐と熱が同時にありますか (はい・いいえ) ⑧ 2週間前検温で発熱がありましたか (はい・いいえ)
④ 検温での異常確認	① 平熱は 度 ② 検温の検温場所一箇所 度 温度 度
⑤ 持病の有無	① 持病はありますか (はい・いいえ) ② どんな持病ですか ()
⑥ 2週間前の行動・履歴・接触	① 2週間前前日に地元以外に出かけましたか (はい・いいえ) ② どこにでかけましたか () ③ 人が集まる場所（カラオケボックスやスポーツジム等）に行きましたか (はい・いいえ) ④ 発症時点で感染の多い地域の人との接触はありましたか (はい・いいえ) ⑤ 周りの人に感染者はいますか (はい・いいえ)
⑦ 同室感染者の有無	① 同室者の氏名 ② 同室者の氏名 ③ 同室者の氏名 ④ 同室者の氏名 ⑤ 同室者の氏名
⑧ 発症者の宿泊先	【宿泊先】 ① () 度 ② () 度 ③ () 度 ④ () 度 ⑤ () 度
⑨ 発症者の現在地（待機場所）	① 発症者の行動範囲・使用した研修室・(可能な範囲で) 備考等



43

活動支援における取り組み（1）

野外活動資料の事前提供
施設HPからダウンロードできるように



自分ごと



44

活動支援における取り組み（２）

マリン活動 乗船人数や艇数

- ・ **ペーロン、カッターの人数はコロナ前の数**

（ペーロン：小学生３５人、中学生３０人）

（カッター：中学生２０人） ※艇長・舵取を含む

- ・ 合わせて最大５艇まで出艇可能
- ・ 舵取は青少年の家職員と、**引率の先生方で**
- ・ ライフジャケット・櫂は片付けまでご協力を！

45

活動支援における取り組み（２－２）

先生方への安全管理についてのお願い

- ・ **舵取の引率の先生を、各艇１人ずつ決めておく**

- ①船の「舵」を操作し、進路を調整する
- ②進路や休憩は、職員から指示があります
- ③児童・生徒へ安全面での声かけ
- ④子どもたちの事を知る、良い機会にする

46

活動支援における取り組み

先生方への安全管理についてのお願い

